

### 概要

同社は、セメント瓦の製造・販売を行う屋根材メーカーで、一般の瓦に比べ4割軽く、耐久性にも優れた「高分子繊維強化セメント系瓦（FRC瓦）」を主力製品とする。加えて、時代や市場の変化に併せて、バルコニーボードや内装タイルを含む各種建材、太陽光パネルの設置など幅広い事業を展開。



過去から、環境に配慮した製造を行ってきたところであるが、近年は特にGXやサーキュラーエコノミーに係る取組を強化。現北島工場への製造拠点集約によるエネルギーの効率化や省エネ診断の受診、エネルギー消費量の多い設備（コンプレッサー）の更新等を実施し、2018年比でCO2排出量約50%削減。2025年8月にはSBTi認定を取得。

また、2030年までに原材料の30%をサーキュラー素材（循環廃棄物材料）に変える「サーキュラーインプット30 2030」を目標に掲げ、カーボンフットプリントの算定にも取り組むなど、製造工程のGXを推進。

「フジスレートの未来・環境の挑戦」

# Circular input 30 2030

### 取組ポイント

#### 製造工程のGX

セメント瓦やタイルの製造では、通常高温の焼成工程が発生するところ、同社のFRC瓦では、原料や製法の工夫によって、高温の焼成工程が不要となり、エネルギー使用量やCO2排出量の削減が可能。

また、瓦の原料として、サーキュラー素材である高炉スラグや石炭灰を活用することにより、製造時にCO2を多く排出するセメントの投入量低減を図っている。



#### 廃棄物を新たな建材にアップサイクル

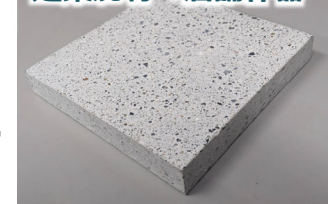
建築廃材やデニムの端材など様々な廃棄物から、内装材タイル等の新たな建材にアップサイクルする取組を推進。

非焼成の製法に加え、廃材の表情を生かして塗料の量を抑制するなど、様々なノウハウを確立。

本取組は、2019年より慶応義塾大学等との共同研究からスタートし、近年は大手メーカーとの協業も増加。脱炭素の潮流にあわせた新たな付加価値の提供によって、OEMの受注獲得、売上向上に繋げている。



建築廃材→店舗什器



今後は、アップサイクルの取組を通して得られるノウハウを生かし、FRC瓦など各製品へのサーキュラー素材の投入割合を更に増やしていく予定。

#### 企業情報

- ・事業内容 軽量セメント瓦等の製造販売施工
- ・所在地 徳島県板野郡北島町太郎八須字新開1-32
- ・電話番号 088-697-0247
- ・ホームページ <https://www.fujislate.com/>

